

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく3

国立市立国立第七小学校

平成27年4月16日 NO.7 (207)



ツバキ

オー君 「お！これはツバキという花だ。」

花ちゃん 「オー君よく知っているね。」

オー君 「だって、この花は、去年やった『春の花検定』にあったでしょ。」

花ちゃん 「そうね。他にもいろいろあったね。」

モンタ博士 「お！二人とも植物のお勉強か。感心感心。ところで、やっと暖かくなってよかったね。春だというのに、この前は雪がふったり、おどろいちゃったね。」

花ちゃん 「そうですね。やっぱり春はあったかいのが一番ですね。」

オー君 「そうだそうだ。最近ヒットしているお笑い芸人の『クマなんとか』の歌にも『♪特別なスープをあなたにあげる。あったかいんだから・・・♪』ってあるもんね。」

モンタ博士 「ところでさ、どうして春という漢字ができたか知っているかな。」

オー君 「ふーん。^{かんじ}漢字の書き取りは得意^{とく}だけど・・・
わかんないな。」

モンタ博士 「あのね、^{きのう}昨日、^{しょくぶつ}植物の名前は楽しみながら
^{おぼ}覚えるといいよ、とittedaろう。それ
と同じで、^{おな}漢字も楽しみながら^{おぼ}覚えれば
いいのさ。」

花ちゃん 「それって、どういうことですか。」

モンタ博士 「つまりね、^{はる}春という^{かんじ}漢字をよく^み見てごらん。
^{よこ}横に三本あるだろう。これは、^{はな}花ちゃん・
^{くん}オー君・^{はかせ}モンタ博士ということさ。」

オー君 「なるほど、それで。」

モンタ博士 「^{つぎ}次に^か書くのが『^{ひと}人』という^{もじ}文字だ。つまり、
^{はな}花ちゃん・^{くん}オー君・^{はかせ}モンタ博士の『^{にん}3人』
がということさ。」

花ちゃん 「なるほど、それで、それで。」

モンタ博士 「^{はる}春の^{かんじ}漢字の下は『^ひ日』だろう。つまり、^{はな}花
ちゃん・^{くん}オー君・^{はかせ}モンタ博士の『^{にん}3人』が、
『^ひ日』なたぼっこをするのが『^{はる}春』という
ことさ。」

オー君 「なるほど、そういうことですか。」

モンタ博士 「さらにお話^{はなし}は^{つづ}続くけど、^{はな}花ちゃん・^{くん}オー君・^{はかせ}モンタ博士の『^{にん}3人』が、『^ひ日』
なたぼっこをするのが^{はる}春で、その時、^{つぎ}ふと^{よこ}横を見たら、『^き木』があって、その
木が『^き椿』ということさ。」

花ちゃん 「なるほど、よくわかりました。」

モンタ博士 「それで終わってはいけないよ。^{つぎ}次は、ツバキをしっかりと^{かんさつ}観察してみようよ。」

オー君 「あ！^{あか}赤い^{はな}花だぞ。それに、^は葉っぱはつやつやだ。」

花ちゃん 「^{おお}大きな^{はな}花ですね。それに、このツバキという^{はな}花は、^{よこむ}横向きに^さ咲いていますね。」

モンタ博士 「それでは、^{あす}明日はみんなで『^{かがく}ツバキを科学しよう！』

は る

春

つ ば き

椿